

株主メモ

Shareholder Information

株式のご案内

| | |
|------------------------|--|
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年6月 |
| 基準日 | 定時株主総会の議決権 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して 定めます。 |
| 公告方法 | 電子公告により当社ホームページに掲載いた します。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告をすることができない場合は、日本 経済新聞に掲載いたします。 |
| 株主名簿管理人および 特別口座管理機関 | 三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 |
| 各種お問い合わせ先 | 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) |
| 単元株式数 | 100株 |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所市場第一部 |

お知らせ

住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

ホームページのご案内

<http://www.chuetsu-pulp.co.jp/>

当社ホームページに最新トピックスのほか、IR情報を随時発信し、ご提供しております。



用紙

国産の竹を原料とした紙「竹紙 100 ナチュラル 100g/m²」を使用しております。



表紙

種子島宇宙センター

「ひと・もの・心」を大切に
株主の皆様へ



 中越パルプ工業株式会社

東京本社 東京都中央区銀座2-10-6 Tel 03-3544-1524
高岡本社 富山県高岡市米島282 Tel 0766-26-2401

UD FONT

 中越パルプ工業株式会社

証券コード:3877

経営理念

Management Concept

私達中越パルプ工業グループは、グローバル化していく経済環境の中で、持続的に発展していくため、ひたむきに人を大切にしたものづくりに努め、国際競争を勝ち抜く強い企業創りを目指します。

一、愛され信頼される企業に

コンプライアンスに徹し真摯で誠実な企業活動を基本とし、品質を第一に弛まざる技術革新により常に顧客満足を希求するとともに、地域社会との共存共栄を図り、誰からも愛され信頼される企業を目指して努力を続けてまいります。

二、環境と社会に貢献する企業に

私たちは、省資源や省エネルギーの取り組みを継続し、リサイクル資源の有効活用に努め、地球環境に配慮した生産活動を通じて循環型社会の確立、豊かな文化社会の発展に貢献するとともに、社会の様々なニーズに積極的に対応して、安定的により良い製品とサービスを提供します。

三、向上心あふれる働き甲斐のある会社

エネルギーに革新に取り組み、不撓不屈の精神であらゆる困難にも果敢に立ち向かい、会社の明るい未来のために全ての社員が力を合わせ、国際競争を勝ち抜く収益性、健全性を備えた働き甲斐のある会社をつくりまします。

Contents

| | | | |
|---|---|----------|----|
| 経営理念 | 1 | セグメントの概要 | 7 |
| トップメッセージ | 2 | 連結決算概要 | 8 |
| トピックス | | 会社概要 | 9 |
| MAPKA®(マブカ)シート製造事業 セルロース・ナノファイバー複合樹脂 販売開始 健康経営優良法人に認定 | 5 | 株式の概況 | 10 |

トップメッセージ

Top Message



「持続可能な社会の実現」に貢献する
企業集団を目指して

 **中越パルプ工業株式会社**
CHUETSU PULP & PAPER CO., LTD.

代表取締役社長
うえ まつ ひさし
植松 久

●プロフィール
1956年4月13日生 東京農工大農学部卒業
1980年4月 当社入社
2013年6月 取締役
2014年6月 常務取締役
2016年6月 専務取締役
2020年6月 代表取締役社長

新型コロナウイルス感染症によって被害を受けられた方々にお見舞いを申し上げますとともに、日々最前線で治療に尽力されている医療関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

就任のご挨拶

本年6月に代表取締役社長に就任いたしました植松でございます。

株主の皆様には平素より格別のご支援ならびにご

高配を賜り厚く御礼申し上げます。

就任にあたってのご挨拶ならびに、当社の第105期第2四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年9月30日まで)の事業概況につきましてご報告いたします。

中越パルプ工業グループは、1947年の創業以来73年の長きにわたり紙・パルプの総合メーカーとして、皆様の生活に欠かすことのできない「紙」の生産・販売を基幹事業として成長を続けてまいりました。

文化のバロメーターといわれてきた「紙」も私たちの

ライフスタイルの変化とともに、多様な機能性を求められるなどその役割も変化しています。

また地球温暖化問題など、未来に向けての警鐘が鳴らされるなか、環境問題への対応など企業が果たす役割もよりグローバルな視点での対応が必要となっております。

当社グループは、長年にわたり培ってきた「紙」を創る技術を活かして、木質燃料を有効活用した発電事業やプラスチックの代替となる素材生産事業を通じた地球環境保全への貢献、新素材セルロース・ナノファイバーの技術開発による豊かな生活の創造に挑戦するなど、「紙」のみにとどまらない多様性をもつ企業として、「持続可能な社会の実現」に貢献できる企業集団を目指してまいります。

事業結果の概要

中期3ヶ年計画「フォワード304」のもと、今年度末に営業利益30億円、ROE4%の収益基盤の構築に取り組んで

おります。

現在、富山県高岡工場においては、脱プラスチック社会の実現に向けた新素材「マップカ」を製造する新工場の建設工事を2021年春の稼働を目標に進めております。

また当社のセルロース・ナノファイバー（以下CNF）「nanoforest®」につきましては同じく高岡工場内に高機能CNFのパイロットプラントの建設計画を予定するなど、新規事業の積極的な展開による新たな収益基盤の確立とともに、既存事業の安定操業による収益の確保に取り組んでおります。

今期の事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う景気減退の影響、テレワークの普及やイベント自粛による需要の落ち込みによって、紙の販売は大幅に減少しました。

その結果、売上高につきましては374億円と前年同期と比べて105億円の減少、営業損失は19億円と前年

同期の営業利益8億円からの赤字転落となりました。

販売減少に対応して、大幅な減産を余儀なくされた状況のなか、操業効率の向上をはじめムダ・ロスの削減などあらゆる部門でのコスト圧縮に取り組んでまいりましたが、損益悪化を補うにいたらず、最終損益は23億円の赤字を計上することになりました。

今期の見通しと配当予想について

新しい生活様式が定着し、イベント自粛の緩和や政府の経済支援策などの効果で、国内の景気は徐々に回復に転じることが期待されますが、依然として紙の需要については回復の兆しが見通せない状況といえます。

今期の業績につきましては、新型コロナウイルス感染症に伴う景気減速の影響によって、大幅な赤字を見込んでおります。

このような状況にあって、事業の継続的發展を図るためにも手元資金の確保や、紙・パルプ事業の構造改革、新規事業などへ資金を投下することが必要かつ最善であると判断したことから、誠に遺憾ではございますが、当期の中間配当金につきましては見送ることとさせていただきます。

大変心苦しい限りではございますが、株主の皆様には、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

企業体質を強化し収益を確保できる事業基盤を実現することで、早期に復配ができるよう取り組んでまいりますので何卒ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

次なる事業戦略に向けて

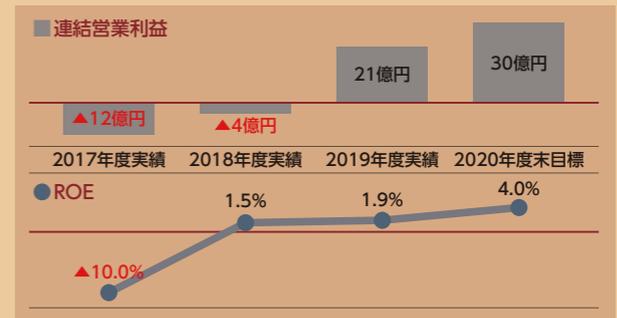
新型コロナウイルス感染症の終息後において、紙の需要が以前の水準まで回復しないことを想定して、「事業戦略推進プロジェクト」を立ち上げ、生産体制の再構築を含めた施策の検討を開始しております。

現在進捗中の中期3ヶ年計画「フォワード304」につきましても早期の実現に向けて、さらにスピードを上げて取り組み、より強固な企業グループの構築を目指してまいります。

株主の皆様へ

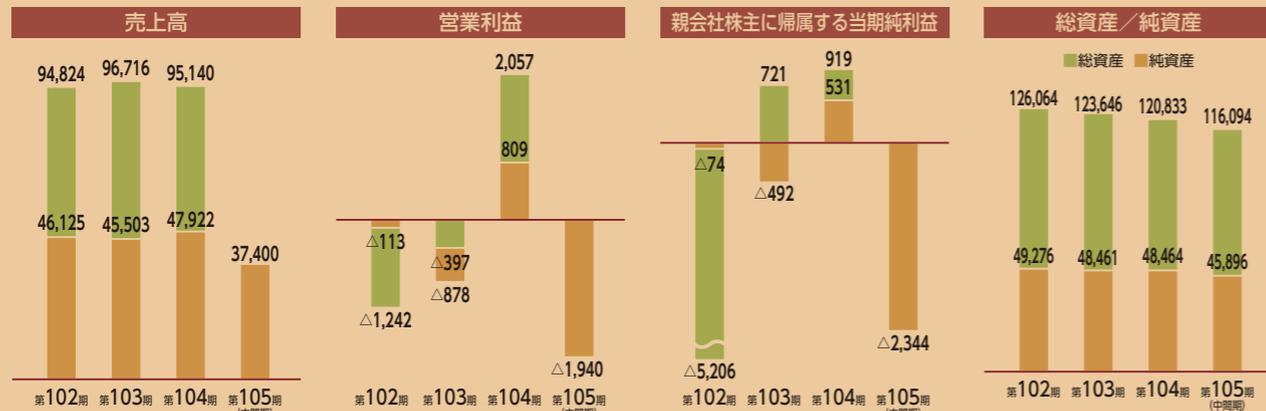
当社グループは、いかなる事業環境のなかにあっても、リスクを吸収できるしなやかな企業体質を構築し、常に成長を志向できる企業グループを目指すとともに、社会・環境に貢献し、あらゆるステークホルダーから必要とされる「中パ」をこれからも築いてまいります。株主の皆様におかれましては、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

「フォワード304」連結営業利益およびROE推移



連結損益計算書の概要

■ 通期 ■ 中間期 (単位:百万円)



MAPKA® (マップカ)シート製造事業

昨年9月に着工したマップカシート製造事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により、当初計画より半年程度の遅れが生じております。この遅れを一日でも早く取り戻そうと、全力を挙げて取り組んでいます。稼働は、来春となる見込みです。



工場外観

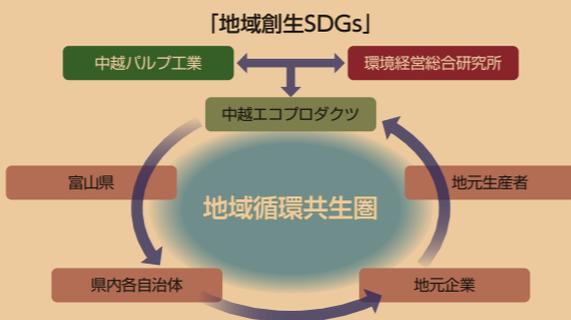
海洋プラスチックゴミ問題を始めとする使い捨てプラスチック削減に向けた「脱プラスチック」の取り組みや「プラスチック資源循環システム」の構築に向けた取り組みが、世界中で進められています。

昨年、経済産業省が立ち上げたクリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス(CLOMA)においても、海洋プラスチックごみ問題の解決に向けて紙パルプ業界、化学業界、食品流通業界など多くの企業や団体がプラスチックの使用削減やリサイクル利用の拡大、生分解性素材の開発、紙・セルロース素材の開発など技術の利用促進に取り組んでいます。当社も加盟しています。

「Chuetsu Eco-Products CEPプロジェクト」

プラスチックの大幅削減を目指して始まったプロジェクトですが、当社が目指しているのは、プラスチック削減(リデュース)だけではありません。プラスチックの優れた機能を保ちながらプラスチックの使用量を半分以上も削減することができる、まったく新しい複合素材「マップカ」の価値を最大限に発揮して、マテリアルリサイクル、エネルギーリカバリー、食品ロス削減といった様々な課題解決に寄与することです。

環境先進県の富山県においても、プラスチックに代えてバイオマス素材の食品容器を導入する食品小売事業などに対する支援策として、全国初の「使い捨てプラスチック容器素材転換促進事業」を開始しています。当社は、対象となる事業者とのつながりでこの促進事業を支援します。



当社は、マップカシート製造事業において、地元行政と地元企業、地元生産者が繋がる多様なローカルビジネスの創出で「地域循環共生圏」を確立して、「地域創生SDGs」の全国初の事例となる取り組みを推進してまいります。

当社は、本事業を通して「脱プラスチック」の取り組みや「プラスチック資源循環システム」の構築に向けて取り組むとともに持続可能な開発目標(SDGs)の実現に向けて邁進してまいります。



セルロース・ナノファイバー複合樹脂 販売開始

当社のセルロース・ナノファイバー(以下CNF)「ナノフォレスト」事業は、さらなる用途への展開、販路拡大を図るため、CNF樹脂の展開強化として、CNFを樹脂に高配合したCNF複合樹脂[nanoforest-MB]の販売を開始しました。CNFを樹脂に複合化し易く加工したPDP(プラスチック複合化用ドライパウダー)については既に製品化しておりますが、樹脂への複合化が難しいといった声や、剛性は向上するが衝撃強度が低下するといった課題がありました。特に自動車産業分野において衝撃強度の強化が求められていました。これらの課題を克服すべく開発を進め、製品化を実現しました。「nanoforest-MB」は標準グレードのほか、衝撃強度を強化した3種類(衝撃タイプ、高剛性タイプ、高衝撃タイプ)からなる4つの製品ラインナップを用意し、様々な分野への応用と実用化を目指します。



nanoforest-MB



健康経営優良法人に認定

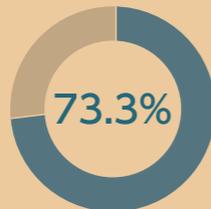
〈健康経営優良法人に認定されました〉

当社の従業員に向けた健康づくりの取り組みが評価され、経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人2020(大規模法人部門)」に認定されました。





紙・パルプ製造事業



| | |
|--|--|
| 連結売上高 31,897 百万円 (前年同期比 24.1%減) | 連結営業損失 2,723 百万円 (前年同期は162百万円の連結営業利益) |
|--|--|

紙から電子媒体へのシフトによる需要の減少に加えて、新型コロナウイルス感染症拡大に伴うイベントの自粛やテレワークが普及したことで、印刷情報紙を中心に売上高は減少しました。収益面では、工場の安定操業やコスト削減に努めましたが、販売減少による生産調整で操業効率が低下し収益を圧迫したことで、大幅な赤字に転じました。



発電事業



| | |
|--|--|
| 連結売上高 3,591 百万円 (前年同期比 3.2%増) | 連結営業利益 786 百万円 (前年同期比 31.9%増) |
|--|--|

安定操業とコスト削減など収益向上対策に努めたことで、増収・増益を確保しました。



その他の事業

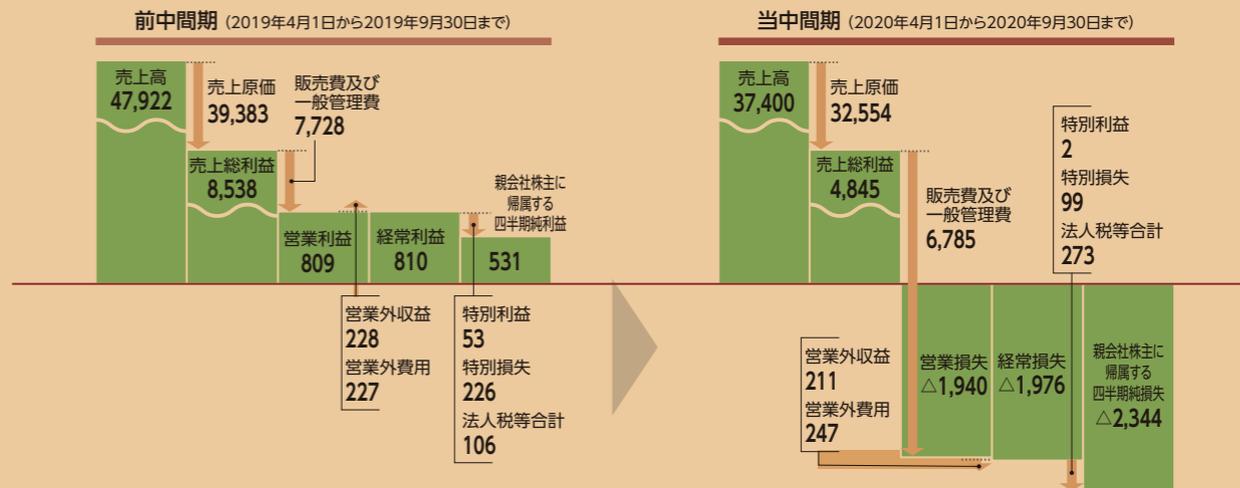


| | |
|---|--|
| 連結売上高 8,015 百万円 (前年同期比 16.4%減) | 連結営業損失 58 百万円 (前年同期は14百万円の連結営業利益) |
|---|--|

公共工事の安定的な受注により建設事業部門では収益を確保しましたが、紙断裁選別包装・運送事業では紙の生産・出荷が減少したことで売上が減少しました。収益面では、紙の減産に伴う操業度の低下で赤字に転じました。

(注) 連結売上高には内部売上高を含みます。

連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)

| 前期末 (2020年3月31日現在) | 当中間期末 (2020年9月30日現在) | 前期末 (2020年3月31日現在) | 当中間期末 (2020年9月30日現在) |
|-----------------------|-------------------------|-----------------------|-------------------------|
| 資産合計 120,833 | 資産合計 116,094 | 負債純資産合計 120,833 | 負債純資産合計 116,094 |
| 流動資産 47,970 | 流動資産 43,342 | 負債 72,368 | 負債 70,198 |
| 固定資産 72,862 | 固定資産 72,751 | 純資産 48,464 | 純資産 45,896 |

連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位:百万円)

| 科目 | 前中間期 2019年4月1日から 2019年9月30日まで | 当中間期 2020年4月1日から 2020年9月30日まで |
|-------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 営業活動による キャッシュ・フロー | 1,670 | 282 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー | △2,813 | △1,584 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー | △521 | 1,889 |
| 現金及び現金同等物に係る 換算差額 | △0 | △28 |
| 現金及び現金同等物の 増減額(△は減少) | △1,665 | 559 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 5,918 | 7,222 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 4,253 | 7,781 |

会社概要 (2020年9月30日現在)

商号 中越パルプ工業株式会社
 本店所在地 東京都中央区銀座二丁目10番6号
 創業 1947年2月
 資本金 18,864百万円
 グループ従業員 1,419名
 主要な事業内容 ©パルプ・印刷用紙・新聞用紙・包装用紙・特殊紙・高級板紙および古紙入り再生紙、竹紙等の製造ならびに販売、発電事業

役員 (2020年9月30日現在)

取締役(監査等委員である取締役を除く。)
 代表取締役社長 植松 久 取締役 三浦 新
 専務取締役 大島 忠司 取締役 地蔵 繁樹
※監査等委員である取締役を除く各取締役は執行役員を兼務。
 監査等委員である取締役
 取締役 常任監査等委員(常勤) 小林 敬
 社外取締役 監査等委員 杉島 光一
 社外取締役 監査等委員 山口 敏彦

グループ拠点 (2020年9月30日現在)

事業所

- ① 東京本社
- ② 高岡本社
- ③ 大阪営業支社
- ④ 名古屋営業所
- ⑤ 福岡営業所
- ⑥ 北陸営業所
- ⑦ 川内工場
- ⑧ 高岡工場
- ⑨ 生産本部 二塚製造部

紙・パルプ製造事業

- ⑩ 三善製紙株式会社

その他の事業

- ⑪ 株式会社文運堂
- ⑫ 中越緑化株式会社
- ⑬ 中越物産株式会社
- ⑭ 中越ロジスティクス株式会社
- ⑮ 中越テクノ株式会社
- ⑯ 共友商事株式会社
- ⑰ 中越エコプロダクツ株式会社

持分法適用関連会社

- ⑱ 中越パッケージ株式会社
- ⑲ 中部紙工株式会社
- ⑳ 王子製袋株式会社
- ㉑ 王子包装(上海)有限公司
- ㉒ Japan Paper Technology(Viet Nam)Co.,Ltd.
- ㉓ Japan Paper Technology Dong Nai(VN)Co.,Ltd.

その他関係会社

- ㉔ O&Cアイポリーボード株式会社 徳島工場
- ㉕ OCMファイバートレーディング株式会社
- ㉖ O&Cペーパーバッグホールディングス株式会社



株式の状況 (2020年9月30日現在)

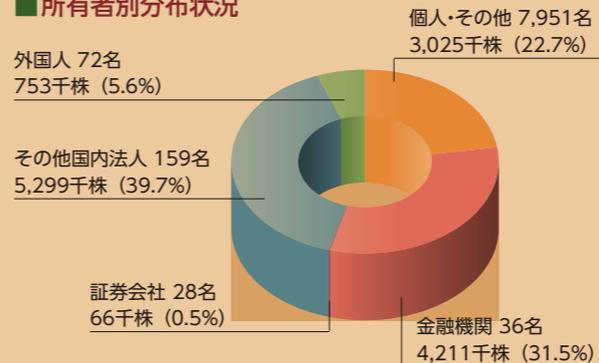
発行可能株式総数 45,000,000株
 発行済株式の総数 13,354,688株
 株主数 8,246名

大株主の構成

| 株主名 | 持株数 (千株) | 持株比率 (%) |
|-------------------------|-------------|-------------|
| 王子ホールディングス株式会社 | 2,753 | 20.62 |
| 日本紙パルプ商事株式会社 | 710 | 5.32 |
| 株式会社北陸銀行 | 573 | 4.29 |
| 新生紙パルプ商事株式会社 | 564 | 4.23 |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口) | 546 | 4.09 |
| 国際紙パルプ商事株式会社 | 534 | 4.00 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 478 | 3.58 |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口4) | 416 | 3.11 |
| 株式会社みずほ銀行 | 401 | 3.00 |
| 農林中央金庫 | 401 | 3.00 |

(注)千株未満は切り捨てて表示しております。

所有者別分布状況



第104期定時株主総会における議決権行使の集計結果に関するお知らせ

1. 議決権の状況

議決権を有する株主数 7,137名
 議決権の数 133,131個

2. 議決権行使状況

| | 株主総会前日 までの議決権行使 (事前行使) | 株主総会 当日出席による 議決権行使 | 議決権行使 合計 |
|---------|------------------------------|--------------------------|-------------|
| 株主数 | 2,540名 | 16名 | 2,556名 |
| 議決権行使個数 | 85,680個 | 27,629個 | 113,309個 |
| 行使率 | 64.4% | 20.7% | 85.1% |

3. 議決権行使結果

| | 賛成数 | 反対数 | 棄権数 | 賛成比率 |
|-------------------|----------|------|-----|--------|
| 第1号議案 剰余金の処分の件 | 113,065個 | 154個 | 0個 | 99.78% |

第2号議案

取締役(監査等委員である取締役を除く。)
4名選任の件

| 氏名 | 賛成数 | 反対数 | 棄権数 | 賛成比率 |
|-------|---------|---------|-----|--------|
| 植松 久 | 93,173個 | 20,046個 | 0個 | 82.23% |
| 大島 忠司 | 98,149個 | 15,070個 | 0個 | 86.62% |
| 三浦 新 | 98,178個 | 15,041個 | 0個 | 86.65% |
| 地蔵 繁樹 | 98,193個 | 15,026個 | 0個 | 86.66% |

第3号議案

監査等委員である取締役3名選任の件

| 氏名 | 賛成数 | 反対数 | 棄権数 | 賛成比率 |
|-------|----------|---------|-----|--------|
| 小林 敬 | 101,301個 | 11,918個 | 0個 | 89.40% |
| 杉島 光一 | 101,396個 | 11,823個 | 0個 | 89.49% |
| 山口 敏彦 | 101,397個 | 11,822個 | 0個 | 89.49% |

(注)1. 当社の株主名簿管理人三井住友信託銀行株式会社における、一部議決権の未集計分を合計した結果を記載しています。
 2. 賛成数は、「事前行使における賛成数」と「当日出席株主から各議案の賛否に関して確認できた賛成数」を合計したものです。